

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。また、競技者が児童である年齢を考慮し、教育的配慮のもとに競技を実施する。

2 招集について

(1) 招集所は、第4ゲート外とする。

(2) 競技者は、招集開始時刻から招集完了時刻の間、招集場所に待機しアスリートビブスと名前、組などの確認を受けること。また、トラック競技出場者は腰ナンバーを受取り、右腰やや後方につけること。

(3) 競技者は、コールを済ませた後、競技者係の指示に従うこと。

(4) 招集時間は、下記のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	50分前	40分前

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。

(6) 棄権する場合は、予め棄権届を招集所に提出すること。

3 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは、各クラブに割り当てられたアスリートビブスを使用すること。

(2) アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背中にはっきり見えるように付けること。
ただし、跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。

4 トラック競技について

(1) 本大会は、オールウェザー用のスパイク又はシューズを使用し、素足での競技は禁止する。

(2) スタートの合図は、英語とする。スタートの形は、クラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをした時はその競技者を失格とし、オープン参加として走る。(1・2年生は、クラウチングスタートでスターティングブロックなしで行う。)

(3) 80mハードルは、高さ・・・70cm 台数・・・9台
距離・・・スタート→1台目 [13m]、ハードル間 [7m]、9台目→フィニッシュ [11m] 失格・・・手で倒す・ハードルから脚(あし)が出た場合。

(4) 800mでは、第一曲走路の終わりにマークされたブレイクラインの、スタート側により近い端までレーンを走る。競技者はこのブレイクラインから自分のレーンを離れることが許される。

(5) トラック競技は、タイムレースとする。(選考種目は、予選・決勝を行う。ただし、800mはタイムレース。)

5 フィールド競技について

(1) 走幅跳は、3回の試技とする。(選考種目は、6回試技とする。)

6 リレー競技について

- (1) リレーのオーダー用紙は、招集開始時刻の60分前までに招集所に提出すること。なお、招集規定どおりに行うこと。
- (2) リレーに参加するチームは、原則として同一のユニフォームとする。ただし、ユニフォームがそろわない場合は、ハチマキなどで統一していれば認める。

7 練習について

- (1) 混雑回避のため、ウォーミングアップへ付き添い者の同行を極力なくすこと。

8 表彰について

- (1) 各種目とも、1位から3位の入賞者に対して表彰を行う。
(盗撮防止の観点から、ランニング・ランパンでの表彰式は認めないので、Tシャツなどを羽織ること。)
- (2) 成績発表後、入賞者は待機場所に移動して待機すること。

9 その他

- (1) 日本陸連競技規則内、2020年度のシューズ規則に関する改訂ルール(第143条・競技用靴)の適用外とする。
- (2) 該当学年での参加を厳守すること。違反が判明したときは、その競技者を失格とする。
- (3) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に、審判長に対して口頭で行うことができる。(クラブ代表者が行うこと。)
- (4) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。裁定を不服として上訴する場合は、上訴申請書に必要事項を記入して、預託金10,000円を添えて大会本部に申し出ること。
- (5) 記録は、携帯の記録速報で確認すること。
- (6) 応急処置を必要とする事故が生じた時は、本大会本部に連絡し処置を受けること。
なお、大会本部としても一括傷害保険に加入しているので、適用を受ける場合は、その旨を大会本部に申し出ること。

10 撮影について

- (1) 撮影する場合は、盗撮等のトラブルにならないように撮影場所に気をつけてカメラを使用すること。(望遠付きカメラで撮影する場合は、受付で許可をもらうこと。)

11 選考会対象種目について

男女3年100m、4年100m、5年100m、4年800m、5年800m、
4・5共通80mH、4・5共通走幅跳。(走幅跳は、3回試技終了後トップ8を決定し、さらに3回試技を行う。)
指定選手選考基準は、小陸連のHPに掲載する。